

授業のポイント

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることが大切です。

次の4つのポイントを意識して、「考え、議論する道徳」の授業を構想しました。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ○ 問題意識を持たせる | ○ 自分との関わりで考えさせる |
| ○ 多面的・多角的に考えさせる | ○ 自己の生き方について考えさせる |

小学校4年生 B-(9) 友情, 信頼 「卓球は四人まで」のポイント

<ねらい> 正しいことは分かっているにもかかわらず実現できない理由を考えるを通して、友達のことを互いに理解し、よりよい関係を築こうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

導入

道徳的価値の理解を基に・・・

①<問題意識を持たせる> ②<自分との関わりで考えさせる>

- ・ 友達の大切さだけでなく、友達とうまく生活することは簡単ではないことも感じさせ、本時の課題に対する問題意識を持たせる。これまでの自分の経験と照らして考えさせる。

③<多面的・多角的に考えさせる>

- ・ 友達と仲良くすることは大切だと分かっているけどできないことがあることを様々な理由から考えさせる。
- ・ ペアや全体で考えを交流することを通して、多様な考えに触れられるようにする。
(中心的な発問) ④友達と仲良くした方が良いのに、できないことがあるのはどうしてでしょう。

⑤<自分との関わりで考えさせる>

- ・ 自分の生活と照らし合わせて友達とよりよい関係をつくることについて考えさせる。
(発問) ○友達とよりよい関係をつくるにはどうしたら良いでしょう。
○これまでの生活を振り返り、よりよい関係をつくるために良くなかったことはありますか。または、良かったことはありますか。

⑥<自己の生き方について考えさせる>

- ・ 自分の心と照らし合わせながら、自己の生き方についての考えを深めさせる。

展開

終末